

大阪府電子調達 システム

利用ブラウザ変更に伴う 各種設定・確認方法

令和5年1月

目次

手順について	2
1. OSの確認方法	3
Microsoft Edge (Chromium版) の場合	
2a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順	4
3a. キャッシュクリア方法	8
4a. ポップアップの許可設定	10
5a. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法	13
Google Chromeの場合	
2b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順	14
3b. キャッシュクリア方法	18
4b. ポップアップの許可設定	20
5b. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法	24
6. Internet Explorerと画面操作の差異について	26
7. お問い合わせ先	28

手順について

大阪府電子調達システムの利用ブラウザを変更する各種設定は、以下の手順に従って実施します。

ご使用になるパソコンで、大阪府電子調達システムを利用したことがありますか

はい

いいえ

1. OSの確認方法 (3ページ)

[初期設定のマニュアルを参照してください。](#)

利用するブラウザをどちらか選択してください。(Internet Explorerは利用できません。)

Microsoft Edge
(Chromium版)
を使う

Google Chrome
を使う

迷ったら、Edge

2a. 既定ブラウザを Edge に
変更する手順
(4~7ページ)

2b. 既定ブラウザを Chrome に
変更する手順
(14~17ページ)

3a. キャッシュクリア方法
(8~9ページ)

3b. キャッシュクリア方法
(18~19ページ)

4a. ポップアップの許可設定
(10~12ページ)

4b. ポップアップの許可設定
(20~23ページ)

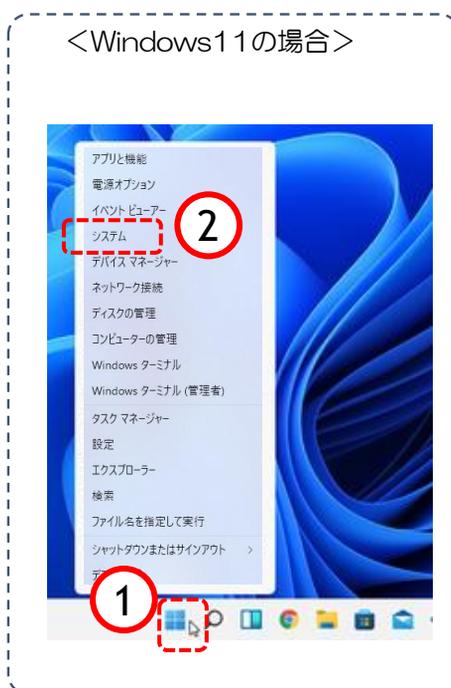
5a. 「ダウンロード時の動作を毎回
確認する」を有効にする方法
(13ページ)

5b. 「ダウンロード時の動作を毎回
確認する」を有効にする方法
(24~25ページ)

6. Internet Explorerと画面操作の差異について
(26~27ページ)

1. OSの確認方法

推奨動作環境は、Windows10 Pro/Home、11 Pro/Homeです。
ご利用のパソコンOSが推奨動作環境となっているか確認してください。上記以外のバージョンでは、正常に動作しない恐れがあります。以下の手順に沿って、OSのバージョンを確認してください。



手順1

以下の手順で、

- ① 「スタート」を右クリックします。
- ② 「システム」をクリックします。



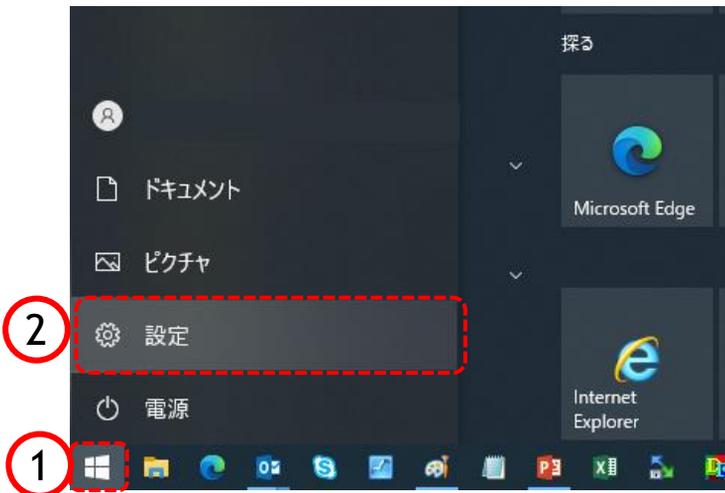
手順2

システム画面が表示されます。

- ④ 「Windowsの仕様」又は「Windowsのエディション」が、「Windows10 Pro」、「Windows10 Home」、「Windows11 Pro」、「Windows11 Home」のいずれかであることを確認します。

2a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順

<Windows10の場合>




手順 1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ① 「スタート」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。

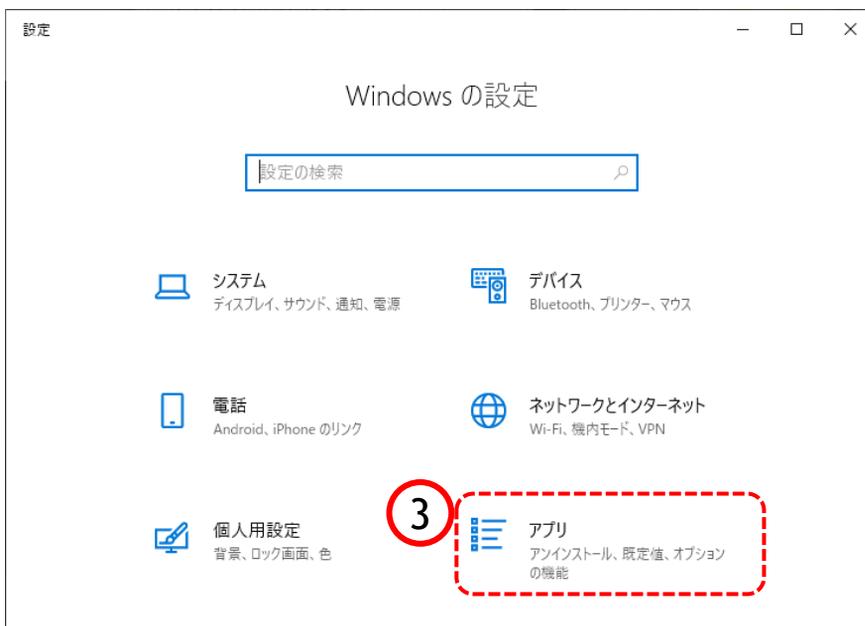
<Windows11の場合>




手順 1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ① 「スタート」 ボタンを**右クリ**ックします。
- ② 「設定」 をクリックします。

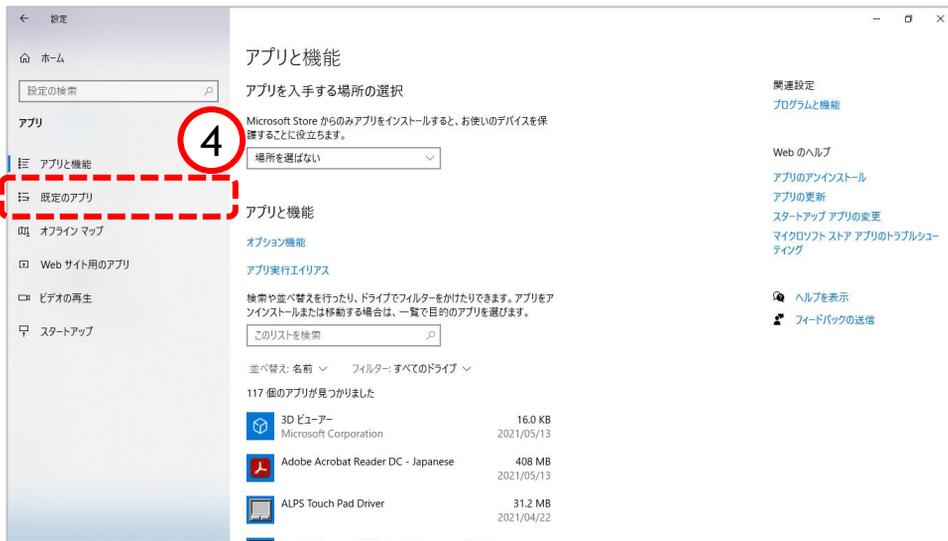



手順 2

Windowsの設定画面が開きます。

- ③ 「アプリ」 をクリックします。

2a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順



手順3

アプリと機能画面が表示されます。

④「既定のアプリ」をクリックします。

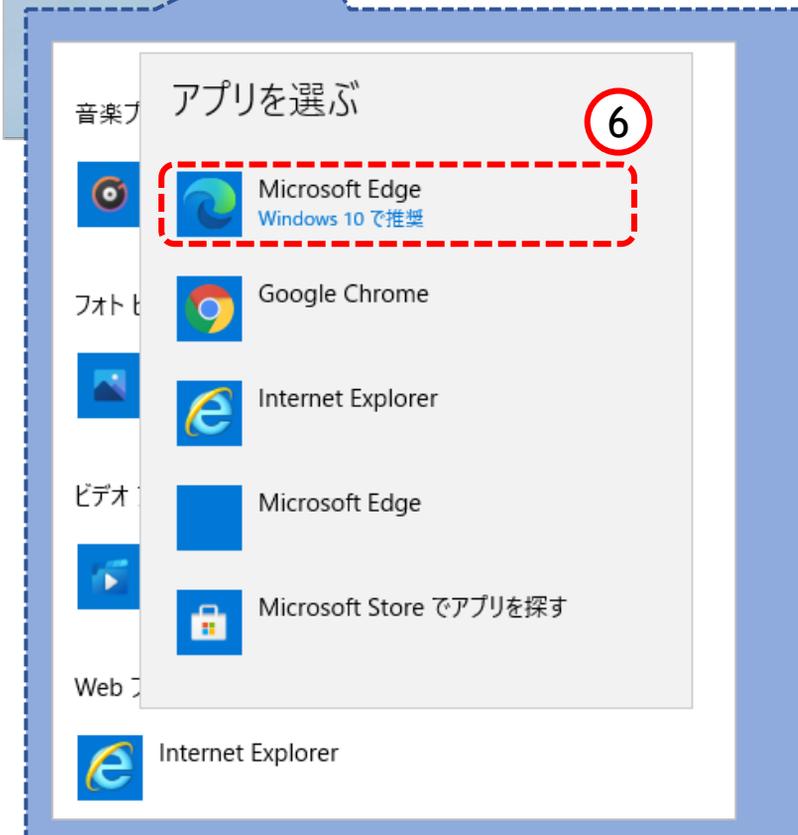


手順4

既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザの現在設定しているアプリを選択します。

上記画面のように「Internet Explorer」をクリックします。

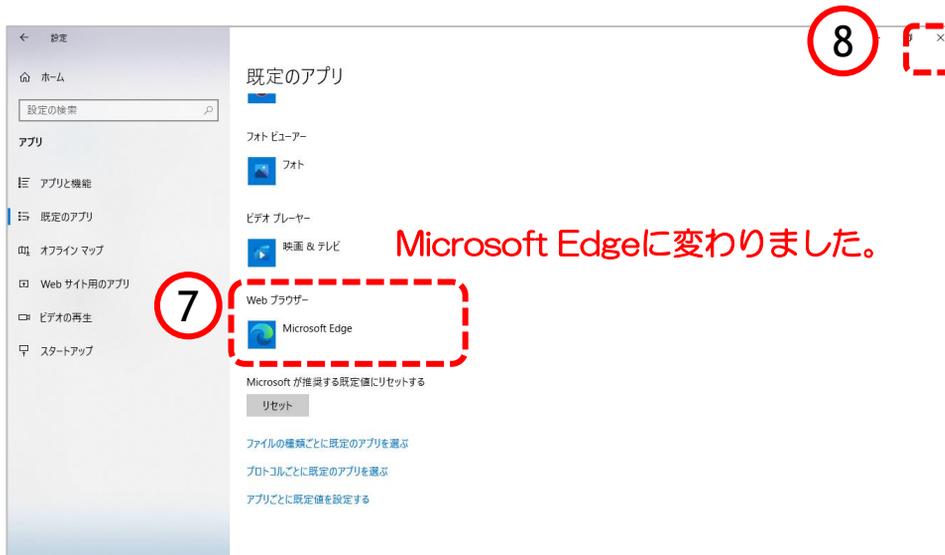


手順5

アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥「Microsoft Edge」をクリックします。

2a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順



手順6

既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザが、「Microsoft Edge」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で既定ブラウザをEdgeに変更する手順は終了です。

2a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順

(参考) Microsoft Edgeの起動方法

「Microsoft Edge」を起動します。



タスクバーの「Microsoft Edge」を選択します。

タスクバーにMicrosoft Edgeが無い場合



手順1

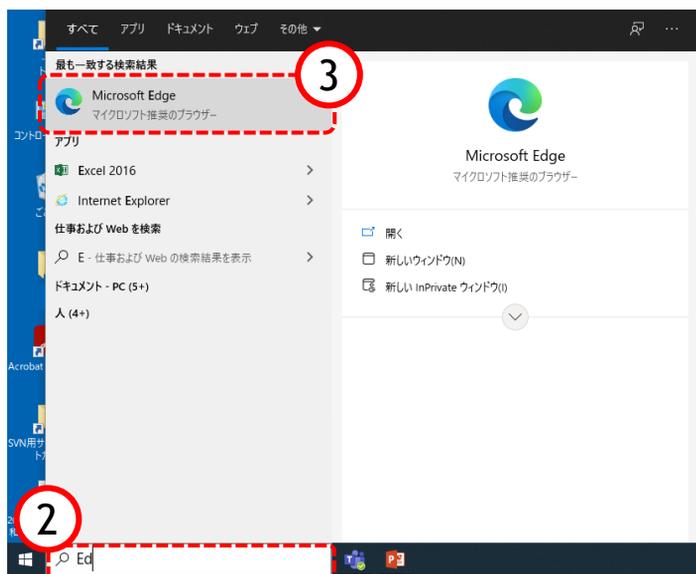
①「検索」欄を選択します。



手順2

②「検索」欄に「Ed」と入力します。

③検索結果にMicrosoft Edgeが表示されます。
「Microsoft Edge」をクリックします。

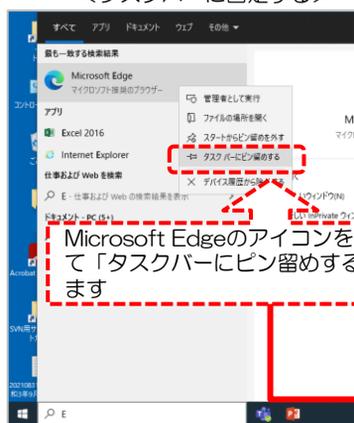


Microsoft Edgeを表示したい度に検索しないといけませんか？

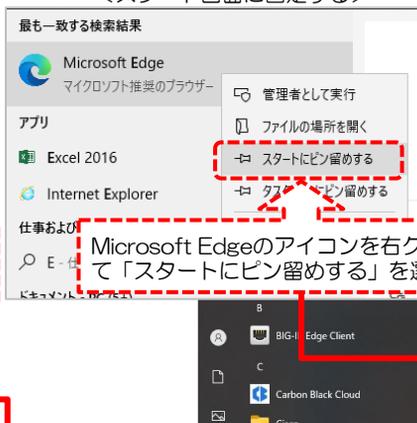
タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

<タスクバーに固定する>

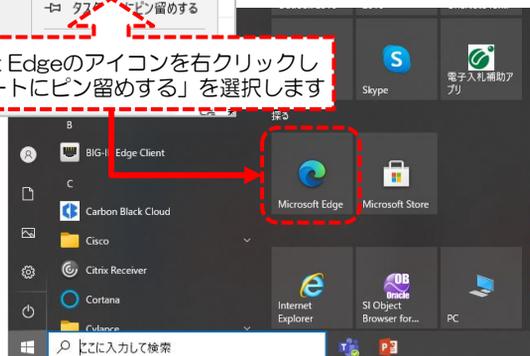
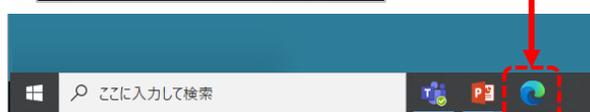
<スタート画面に固定する>



Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択します

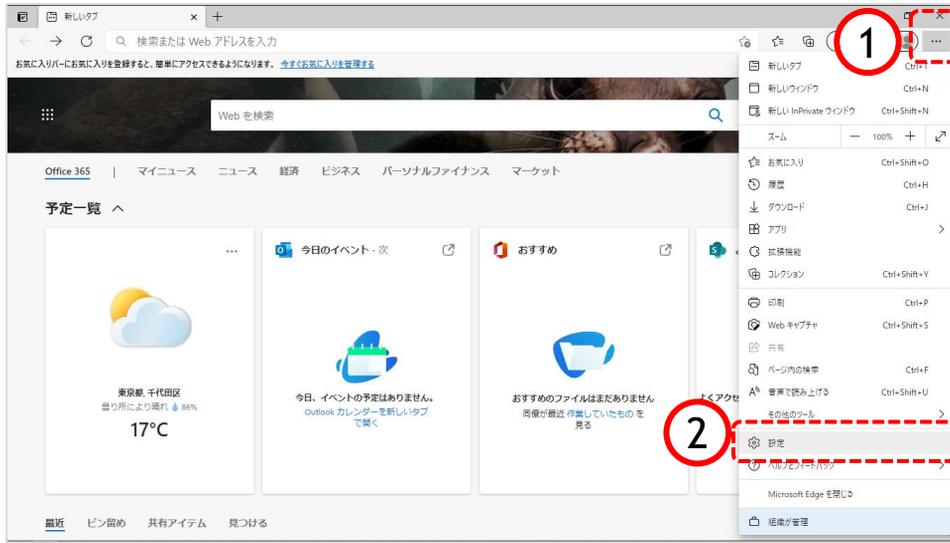


Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「スタートにピン留めする」を選択します



3a. キャッシュクリア方法

ブラウザを「Microsoft Edge」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。
設定の手順は以下の通りです。



手順1

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。

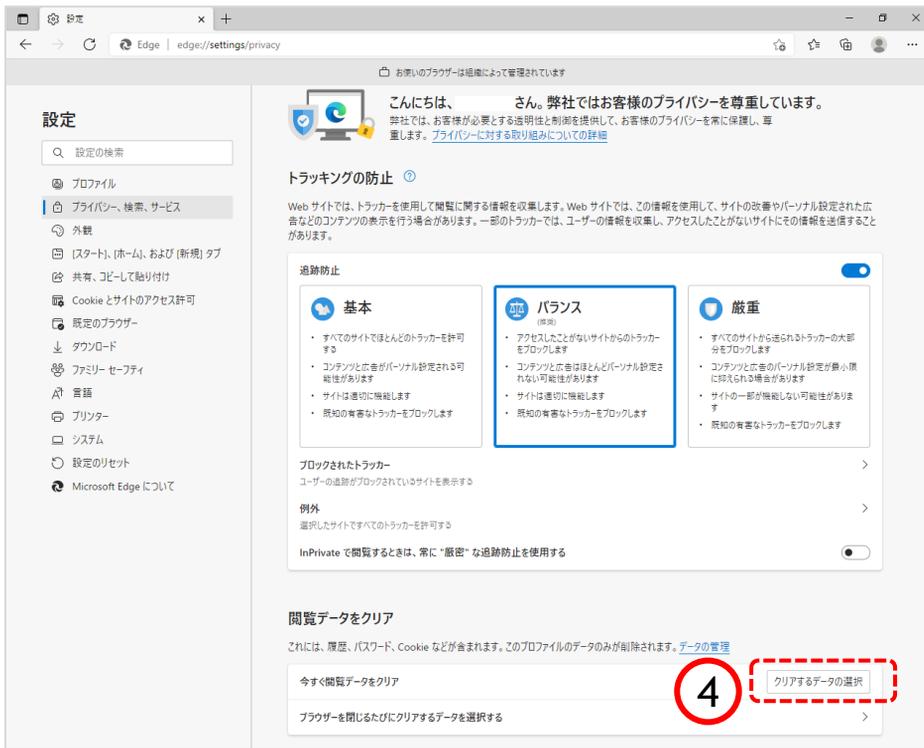


手順2

設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「プライバシー、検索、サービス」 をクリックします。

3a. キャッシュクリア方法



手順3

プライバシー、検索、サービス画面が表示されます。

④『閲覧データのクリア』欄の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



手順4

閲覧データをクリア画面が表示されます。

⑤『時間の範囲』項目の「すべての期間」を選択します。

⑥「Cookieおよびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスにチェックをします。

⑦「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

データクリアが完了すると、プライバシー、検索、サービス画面に戻るため、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。

4a. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。
ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。
ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

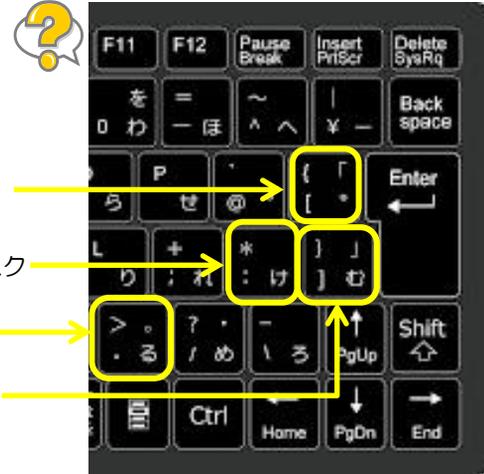
[*.]pref.osaka.jp

- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「.」はピリオド
(「る」のキーから入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

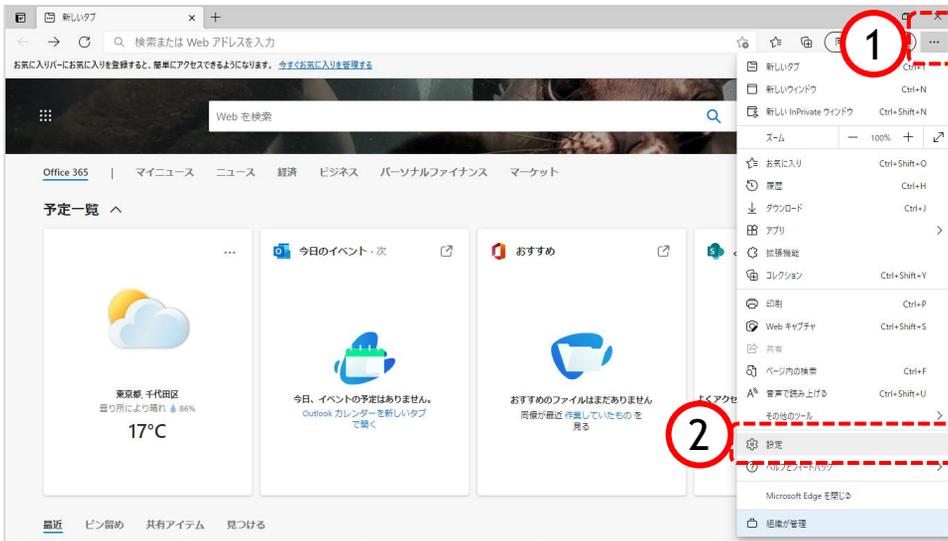
※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



キーボードのキー配列図 (一部抜粋)



- [: 左角カッコ
- * : アスタリスク
- . : ピリオド
-] : 右角カッコ



手順1

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面開きます。

- ① 「…」ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。

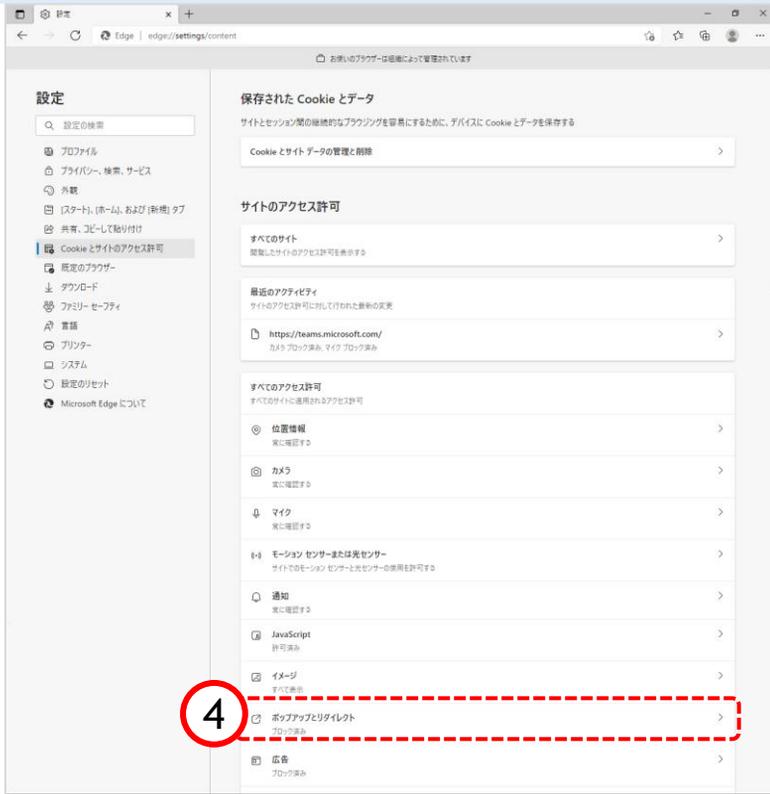


手順2

設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「Cookieとサイトのアクセス許可」をクリックします。

4a. ポップアップの許可設定



手順3

Cookieとサイトのアクセス許可画面が表示されます。

④「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



手順4

ポップアップとリダイレクト画面が表示されます。

⑤『許可』欄の「追加」ボタンをクリックします。



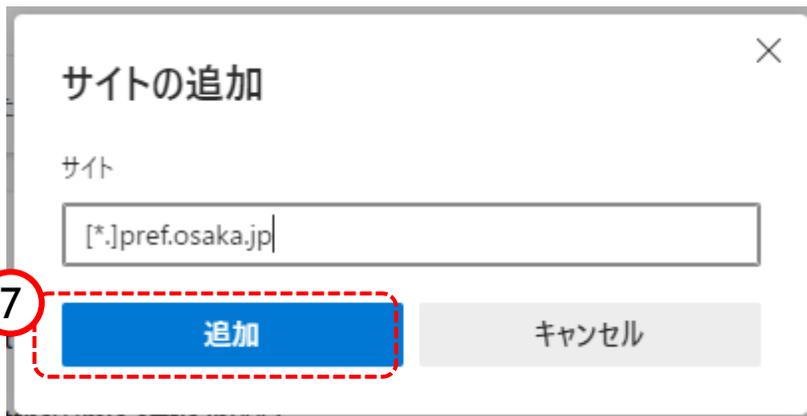
手順5

サイトの追加画面が表示されます。

⑥『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

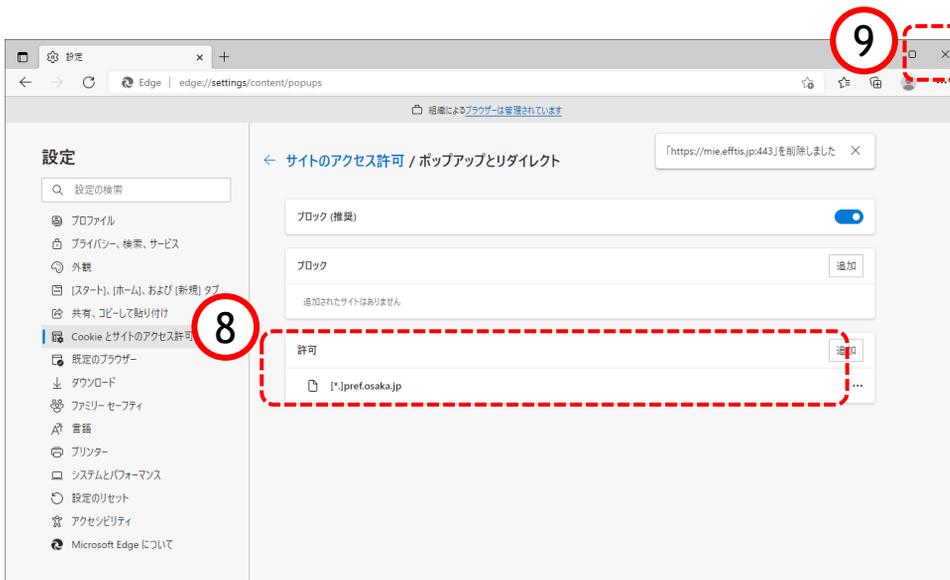
入力するアドレスは、
[*.]pref.osaka.jp
です。

4a. ポップアップの許可設定



手順6

⑦ 「追加」 ボタンをクリックします。



手順7

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

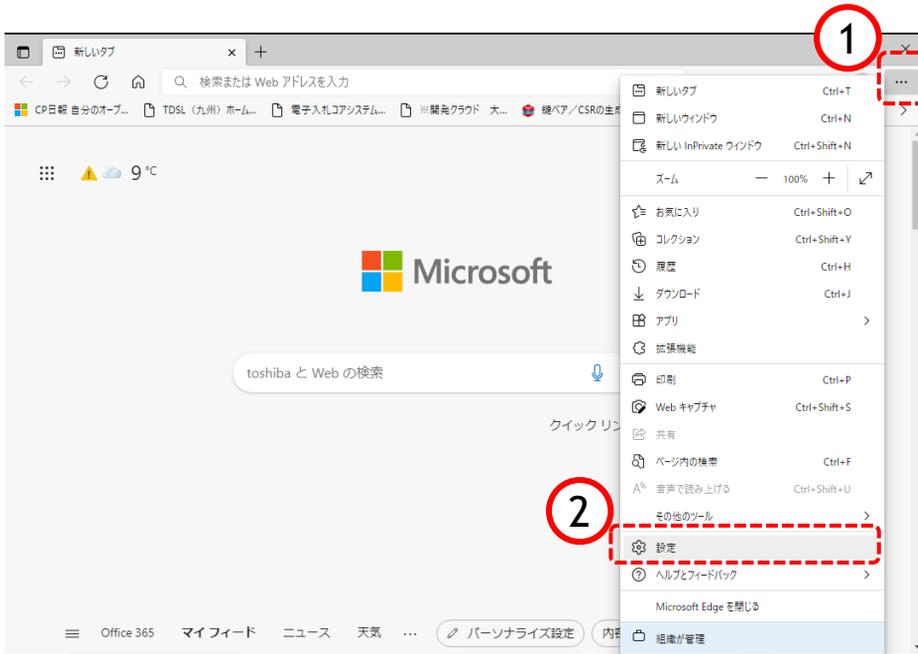
⑧ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

⑨ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。

5a. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

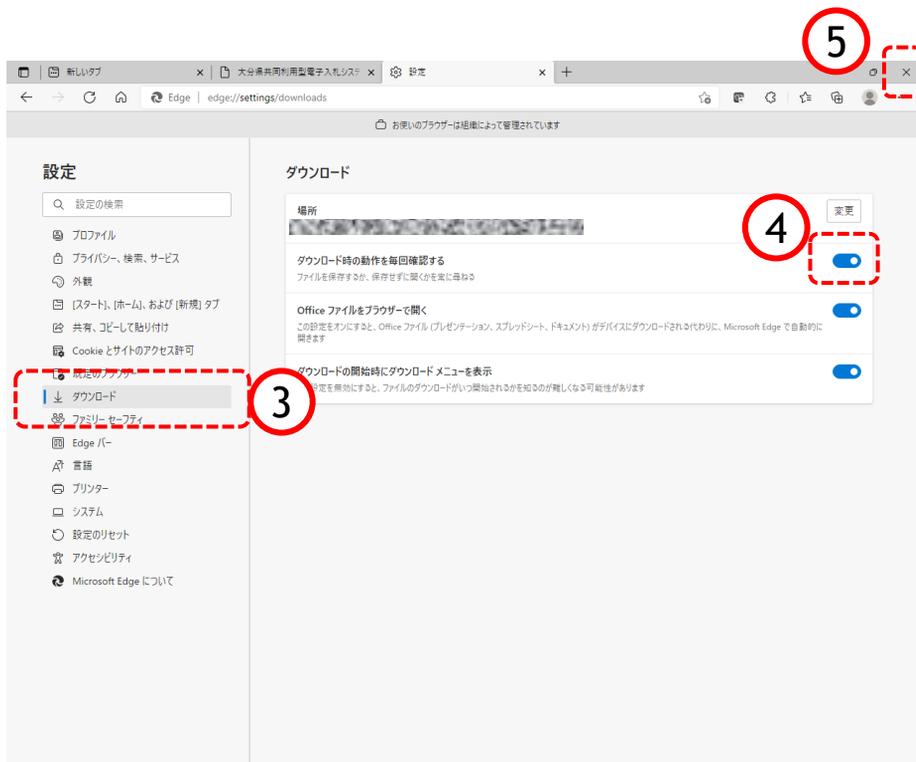
以下の設定をすることによって、Edgeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」するか選択できるようになります。



手順1

以下の手順で、

- ① 「・・・」をクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



手順2

設定画面が表示されます。

- ③ 設定画面の左側に表示されているメニューから「↓ダウンロード」をクリックします。
- ④ 画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効 にします。
- ⑤ 右上「×」ボタンをクリックし、Edgeの設定画面を閉じます。

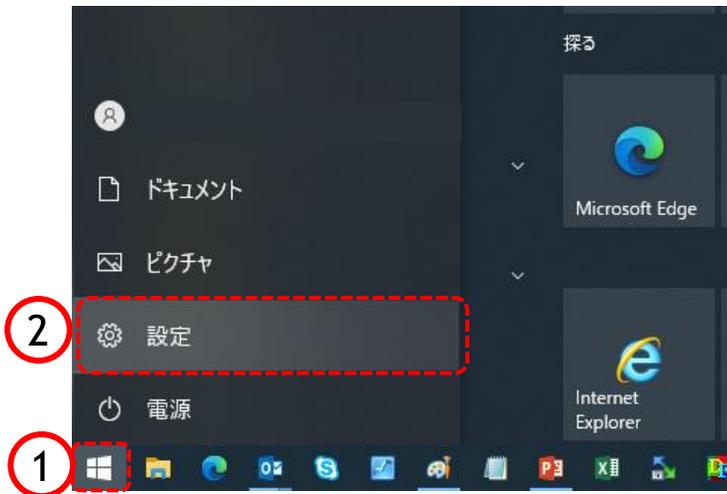
以上で、ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法は終了です。

Microsoft Edge（Chromium版）を使用する方の設定は以上で終了です。
続けて「6. Internet Explorerと画面操作の差異について（26～27ページ）」をご確認ください。

2b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順

本書では、Chromeがご使用の端末にインストール済みの手順を記載しています。
Chromeインストール方法が判らない場合は、Edgeのご利用をお願い致します。

<Windows10の場合>



手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ① 「スタート」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。

<Windows11の場合>



手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ① 「スタート」 ボタンを**右クリ**ックします。
- ② 「設定」 をクリックします。

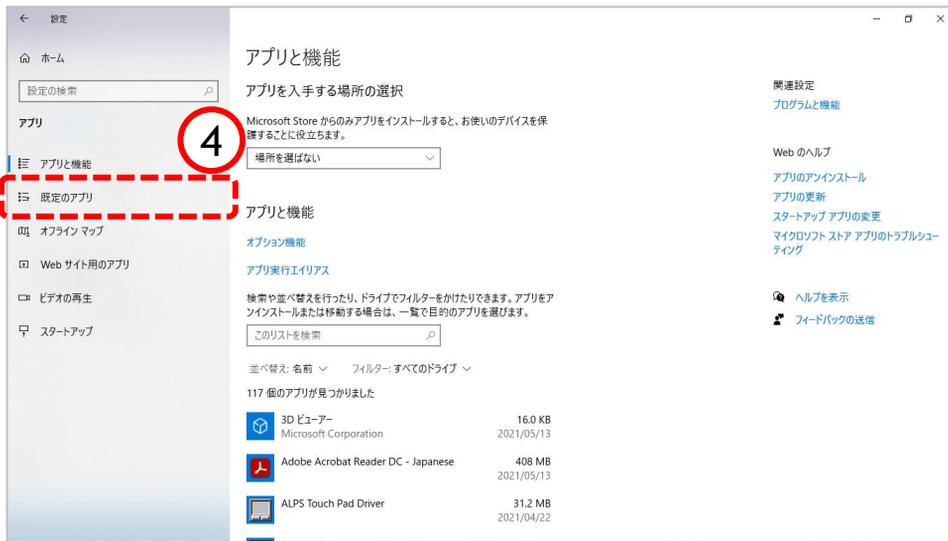


手順2

Windowsの設定画面が開きます。

- ③ 「アプリ」 をクリックします。

2b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順



手順3

アプリと機能画面が表示されます。

④「既定のアプリ」をクリックします。

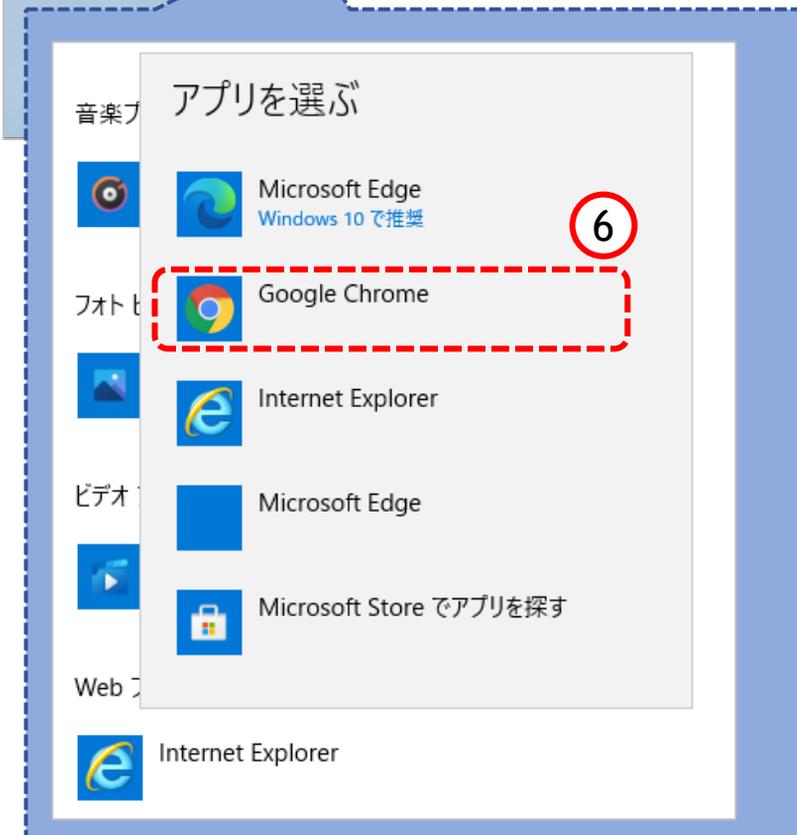


手順4

既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザの現在設定しているアプリを選択します。

左記画面のように「Internet Explorer」をクリックします。



手順5

アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥「Google Chrome」をクリックします。

2b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順

切り替え前に

Microsoft Edge をお試しください。Windows 10 のために生まれた、まったく新しい高速なアプリです。

ご確認ください

強制的に変更する



手順6

「切り替え前に」という画面が表示される場合は、「強制的に変更する」を押下してください。

既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザが、「Google Chrome」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で既定ブラウザをChromeに変更する手順は終了です。



2b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順

(参考) Google Chromeの起動方法

「Google Chrome」を起動します。

タスクバーの「 Google Chrome」を選択します。

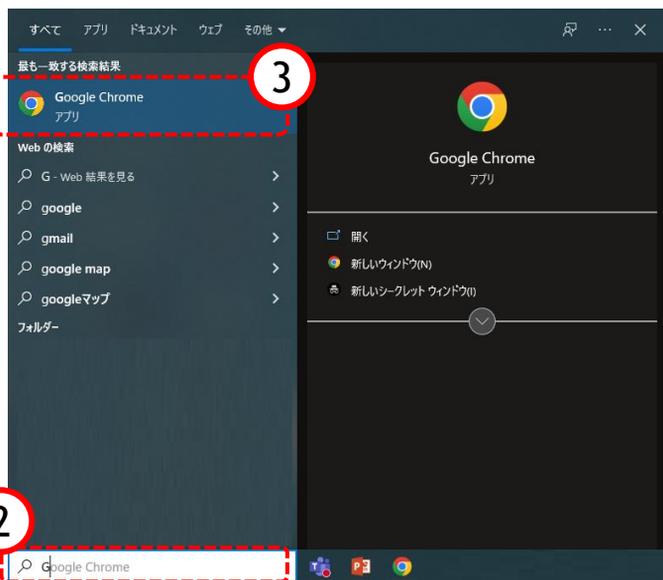


タスクバーにGoogle Chromeが無い場合




手順1

①「検索」欄を選択します。




手順2

②「検索」欄に「G」と入力します。

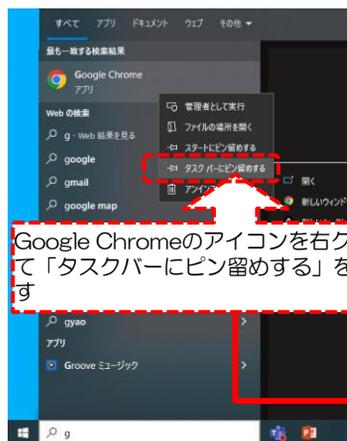
③検索結果にGoogle Chromeが表示されます。
「Google Chrome」をクリックします。



Google Chromeを表示したい度に検索しないといけませんか？

タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

<タスクバーに固定する>



Google Chromeのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択します

<スタート画面に固定する>

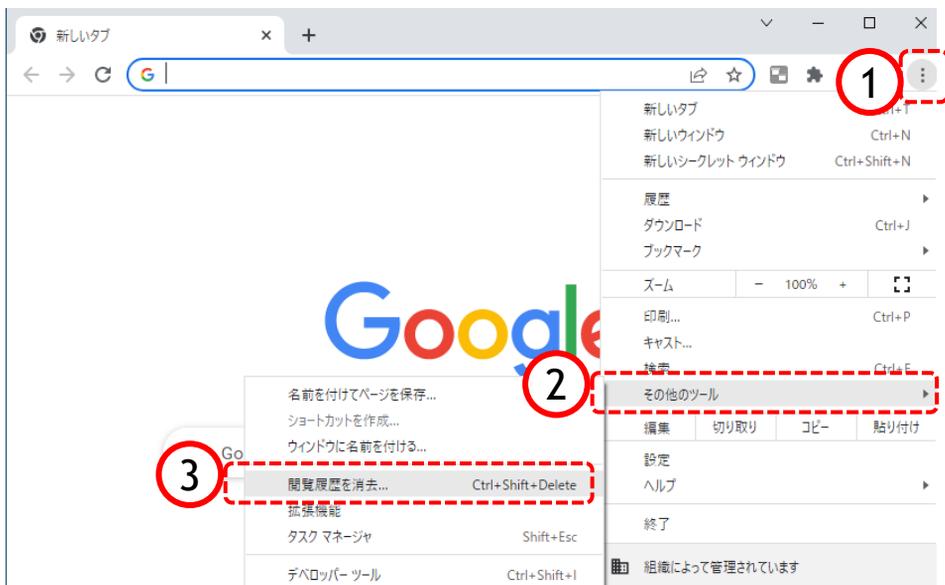


Google Chromeのアイコンを右クリックして「スタートにピン留めする」を選択します



3b. キャッシュクリア方法

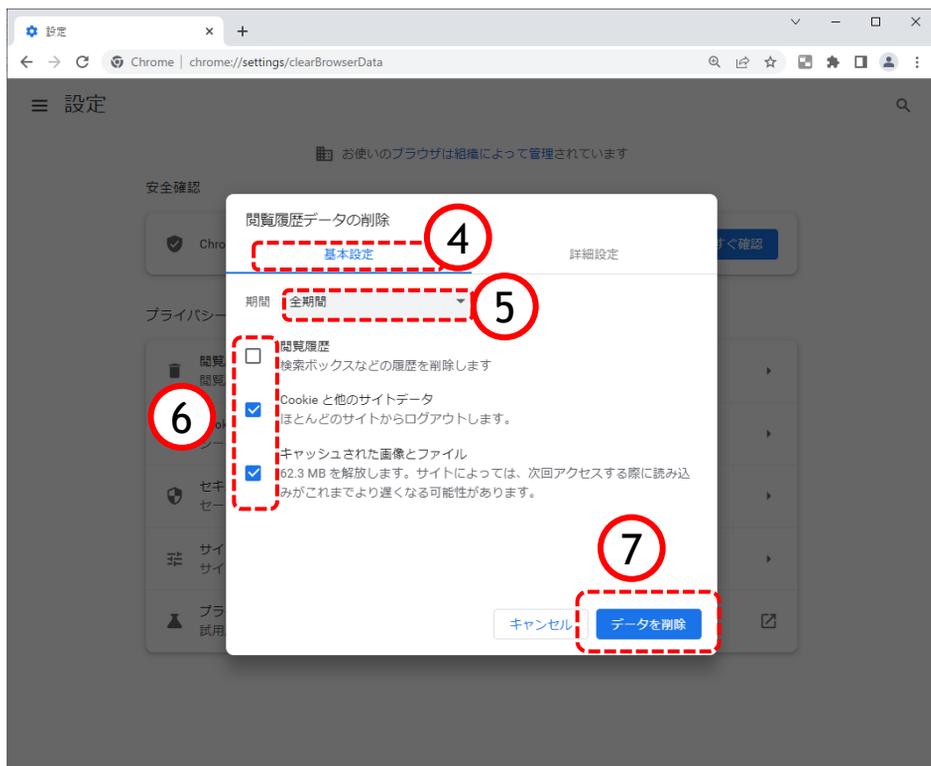
ブラウザを「Google Chrome」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。設定の手順は以下の通りです。



手順1

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

- ① 三点リーダーボタンをクリックします。
- ② 「その他のツール」をクリックします。
- ③ 「閲覧履歴を消去」をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示されます。

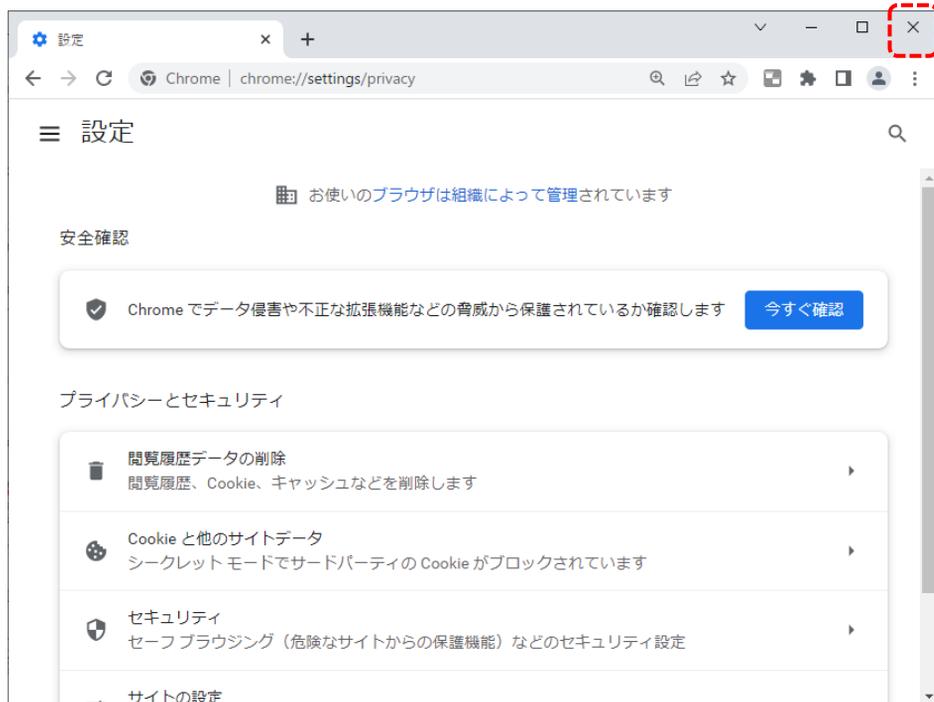
- ④ 「基本設定」をクリックします。
- ⑤ 『期間』項目の「全期間」を選択します。

⑥ 「閲覧履歴」のチェックボックスにチェックが入っている場合、外します。

「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェックします。

⑦ 「データを削除」ボタンをクリックします。

3b. キャッシュクリア方法



手順3

データクリアが完了すると、設定画面に戻るので、右上「X」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。

4b. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。
ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。
ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

[*.]pref.osaka.jp

「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
「.」はピリオド
(「る」のキーから入力可能)
「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



半角、全角切り替えキー

キーボードのキー配列図 (一部抜粋)

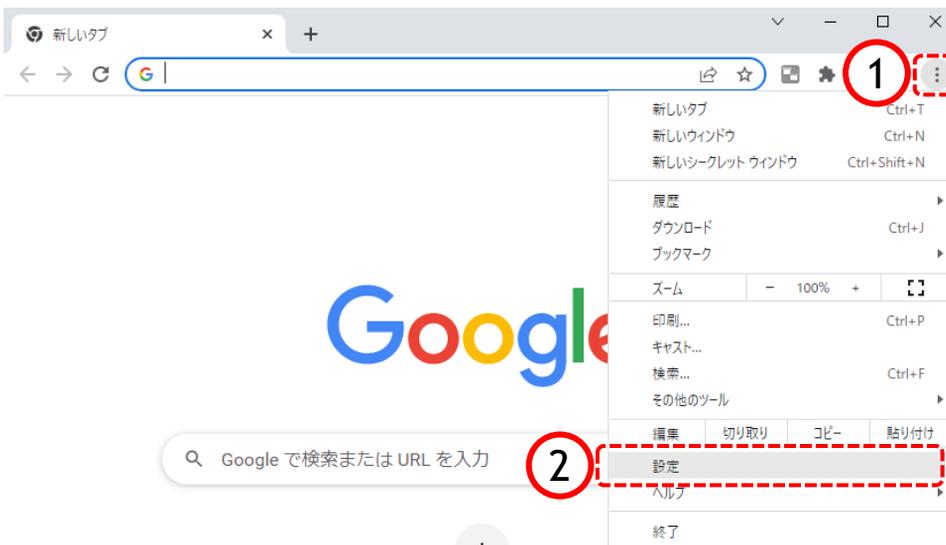


[: 左角カッコ

* : アスタリスク

. : ピリオド

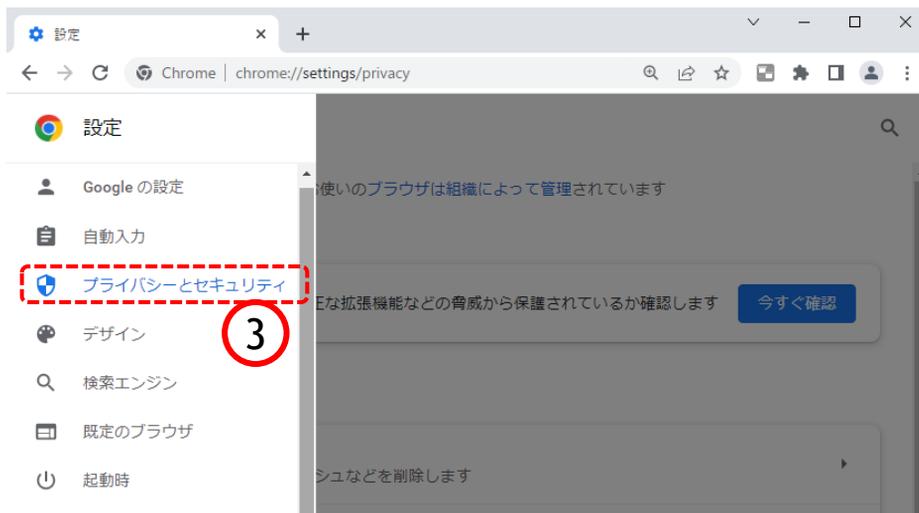
] : 右角カッコ



手順1

以下の手順で、
Google Chrome画面から設定
画面開きます。

- ① [三] ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示され
ます。

- ③ 「プライバシーとセキュリティ」
をクリックします。

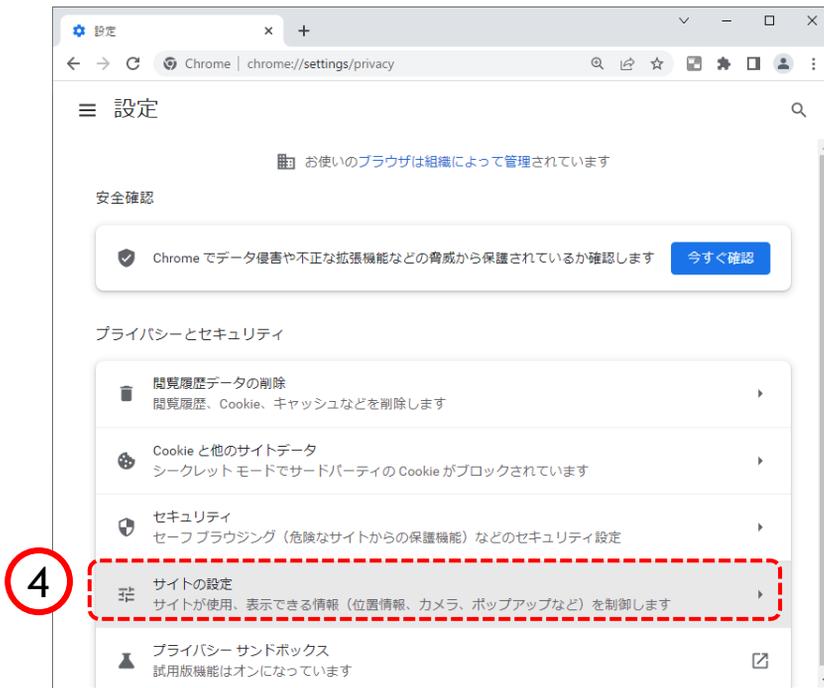
4b. ポップアップの許可設定



手順3

プライバシーとセキュリティ画面が表示されます。

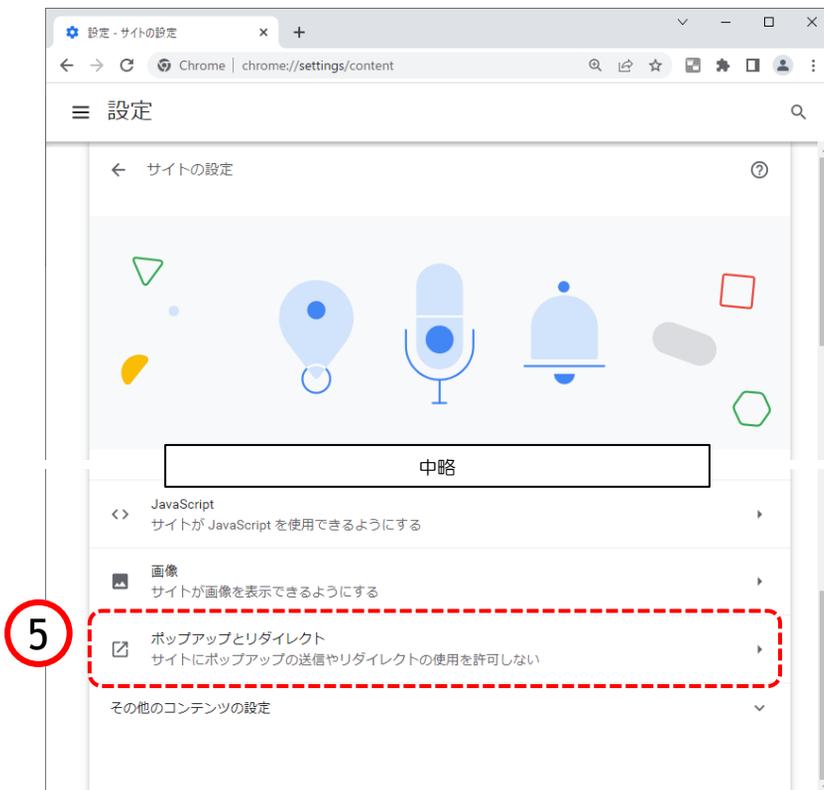
④「サイトの設定」をクリックします。



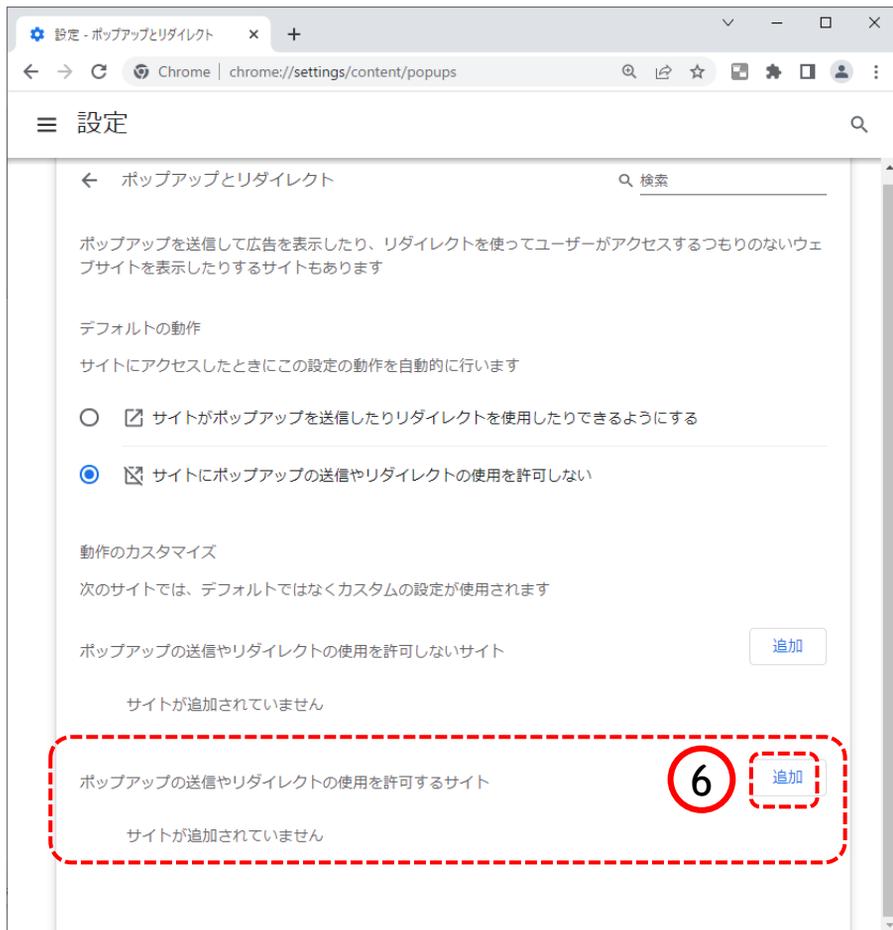
手順4

サイトの設定画面が表示されます。

⑤『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。

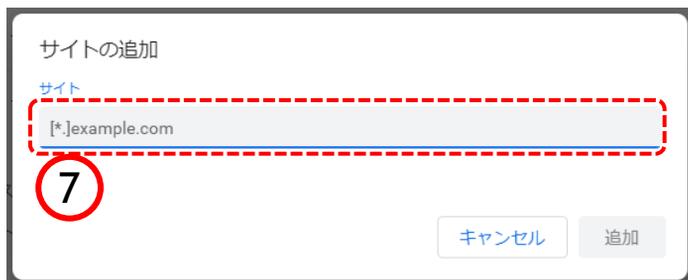


4b. ポップアップの許可設定



手順4

⑥ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイトの「追加」ボタンをクリックします。

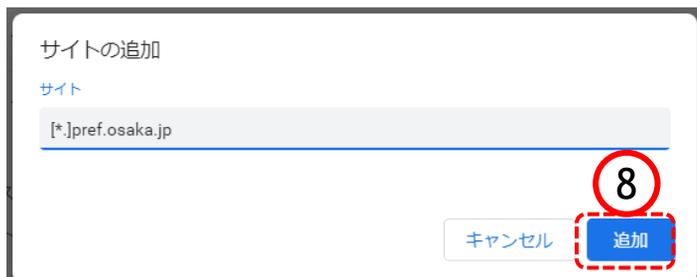


手順5

サイトの追加画面が表示されます。

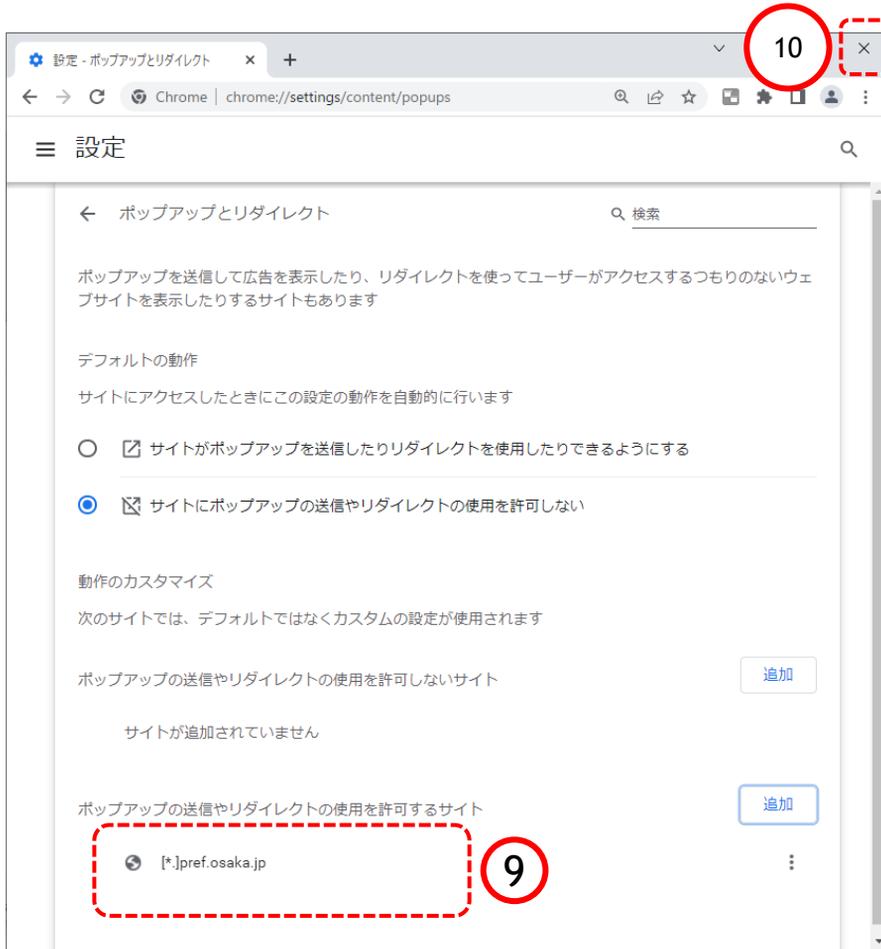
⑦『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、
[*].pref.osaka.jp
です。



⑧「追加」ボタンをクリックします。

4b. ポップアップの許可設定



手順7

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑨ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

⑩ 右上「×」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。

5b. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

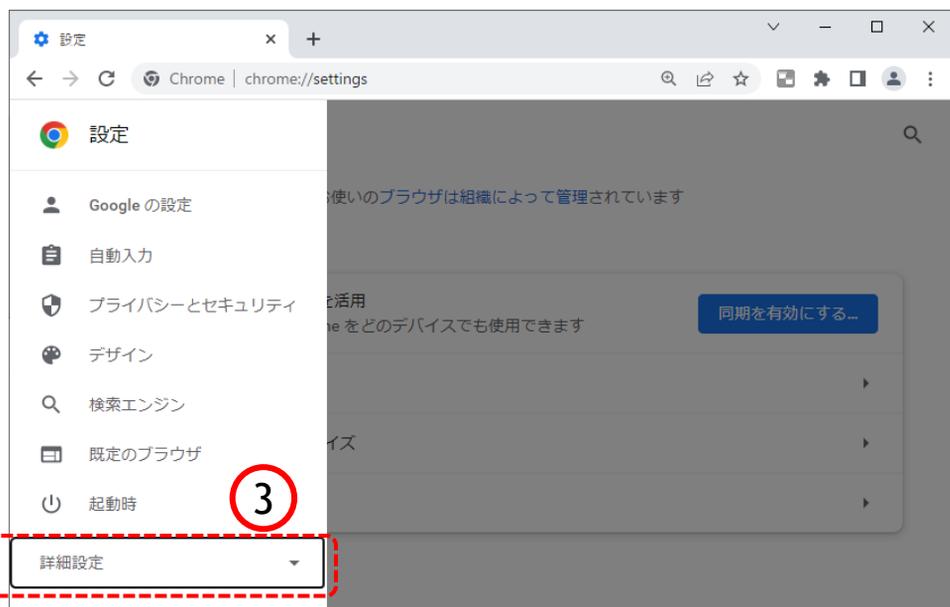
以下の設定をすることによって、Chromeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」するか選択できるようになります。



手順1

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

- ①  ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。

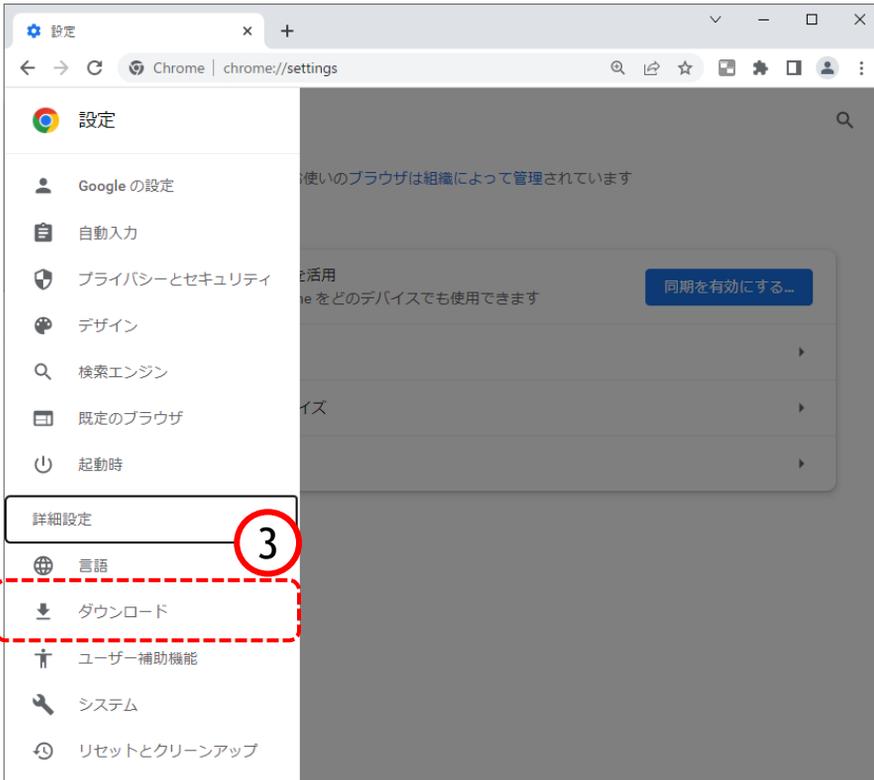


手順2

設定画面が表示されます。

- ③ 設定画面の左側に表示されているメニューから「詳細設定」をクリックします。

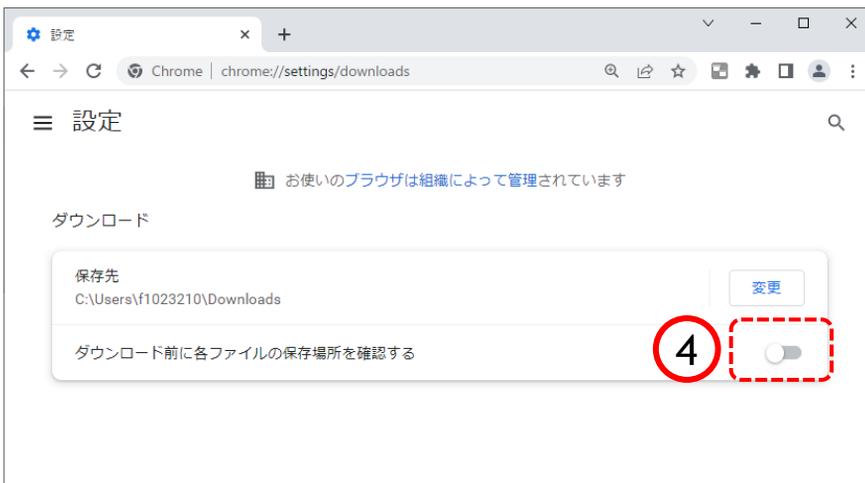
5b. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法



手順3

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

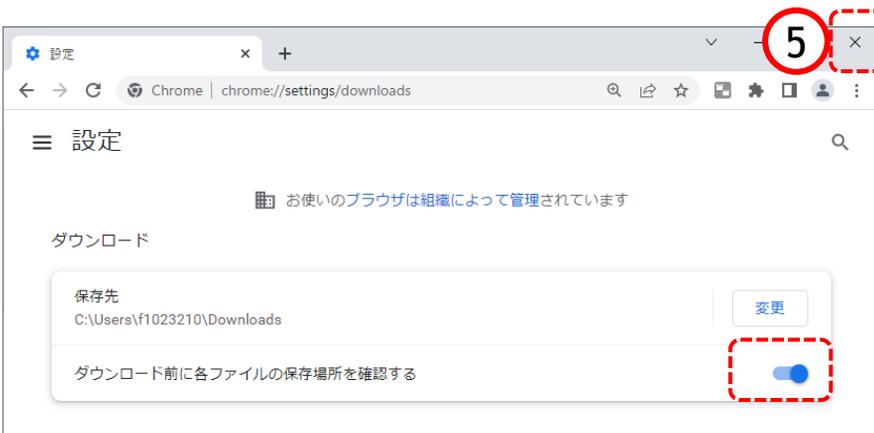
③「ダウンロード」をクリックします。



手順4

設定画面が表示されます。

④画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効 にします。



⑤ 右上「X」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上で、「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法は終了です。

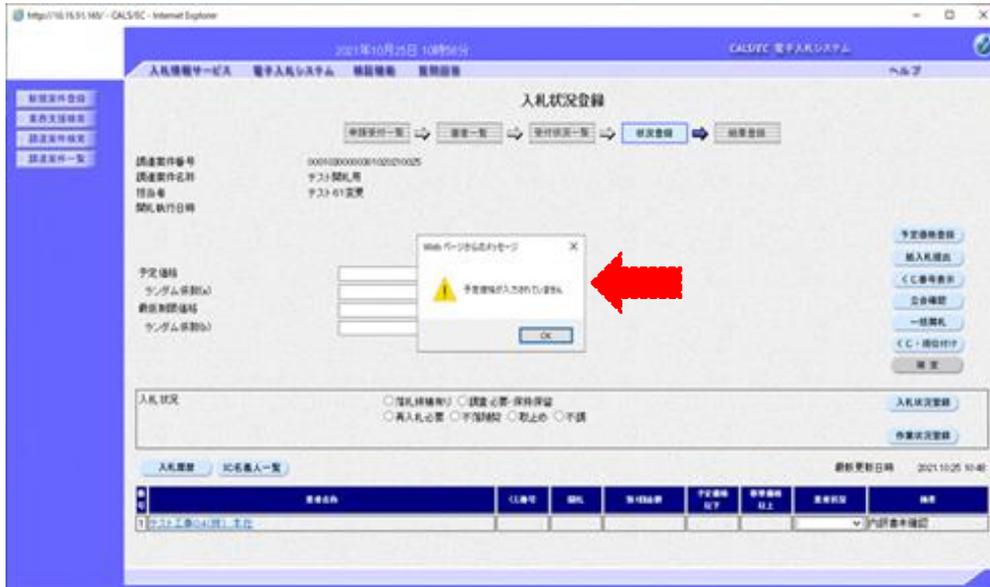
6. Internet Explorerと画面操作の差異について

EdgeもしくはChromeによりシステムを利用する場合、Internet Explorer(以降IE11)とは一部動作が異なる箇所があります。また、EdgeもしくはChromeのバージョンにより、従来の表示が変更となる可能性があります。

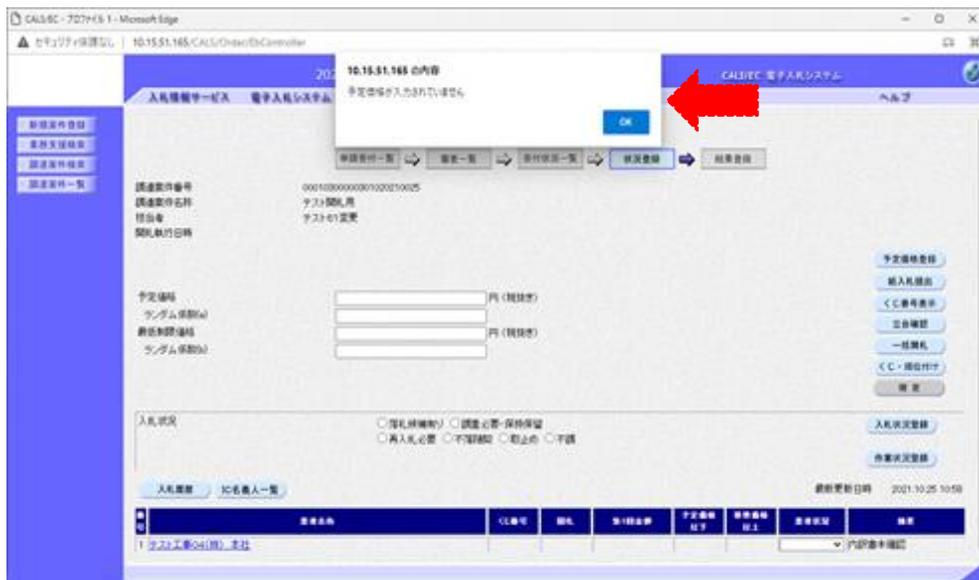
次の(1)～(2)は、IE11とEdge・Chromeの差異部分となります。

(1) ポップアップの表示デザインの変更

●IE11で表示する場合



●Edge・Chromeで表示する場合



6. Internet Explorerと画面操作の差異について

(2) 添付ファイル保存時 確認ダイアログ表示の変更

●IE11で表示する場合



●Edge・Chromeで表示する場合

以下の表示は、EdgeもしくはChromeのダウンロード設定で「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にした場合の画面となります。

※「ダウンロード時の動作を毎回確認する」の設定手順は、

- Edgeの場合は、13ページ記載の『5a.ダウンロード時の動作を毎回確認する』を有効にする手順について』
- Chromeの場合は、24ページ記載の『5b.ダウンロード時の動作を毎回確認する』を有効にする手順について』

を参照してください。



7. お問い合わせ先

(1) ICカードやパソコンの環境設定に関すること

ICカードを購入した認証局にお問い合わせ下さい。（ご不明の場合は以下を参照下さい）

※電子入札システム認証局一覧（電子入札コアシステム開発コンソーシアム HP）

<https://www.cals.iacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>

(2) 電子入札システム、電子申請システムの操作に関すること

大阪府電子調達システムヘルプデスク

電話番号	06-4400-5180
電話受付時間	平日 9:00~17:30
内容	電子入札システム、電子申請システムの操作方法、不具合等の受付及び問合せに対する回答

★問合せ時のお願い★

・ご案内の前に、必ず**担当者様名**、**お電話番号**をお伺いしております。ご案内の情報が不足があった場合や、重要なお知らせがあった場合にすぐにご連絡ができるように努めておりますので、ご協力をお願いいたします。

また、パソコンの不具合などの場合は、パソコンのメーカー、OSの種類、インターネットブラウザの種類などもお伺いいたしますので、事前にお調べいただくとスムーズにご案内ができます。

- ・電子入札に関わりのない、パソコンやネットワーク、その他ソフトウェアの不具合に対してはご案内できかねますのでご了承ください。
- ・ご案内する内容によっては他の部署や機関へお電話をおかけ直しいただく場合がございます。予めご了承ください。